

製品名: テンシン-1 (リン酸化 Tyr1326) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05542**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	185kDa

抗原情報

遺伝子名	TNS1
別名	TNS1; TNS; Tensin-1
遺伝子 ID	7145.0
SwissProt ID	Q9HBL0
免疫原	ヒトテンシン1のリン酸化部位 (リン酸化 Tyr1326) 周辺の合成リン酸化ペプチド

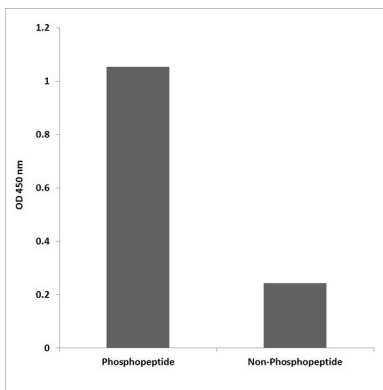
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞が細胞外マトリックスに接着する細胞膜領域である接着斑に局在します。このタンパク質はアクチンフィラメントを架橋し、シグナル伝達に関与する分子によく見られる Src ホモロジー 2 (SH2) ドメインを有し

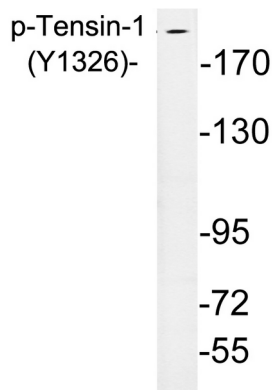
ます。このタンパク質はカルパイン II の基質です。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。 [RefSeq 提供、2015 年 4 月]機能: 細胞遊走、軟骨の発達、およびシグナル伝達経路と細胞骨格の連結に関与している可能性がある。 ,PTM: カルパイン II によって速やかに切断される。 ,PTM: チロシンリン酸化される。 ,類似性: C2 テンシン型ドメインを 1 つ含む。 ,類似性: ホスファターゼテンシン型ドメインを 1 つ含む。 ,類似性: SH2 ドメインを 1 つ含む。 ,サブユニット: アクチンフィラメントに結合し、リン酸化チロシン含有タンパク質と相互作用する。 STARD8 と相互作用する。 ,組織特異性: 普遍的。 ,

研究分野

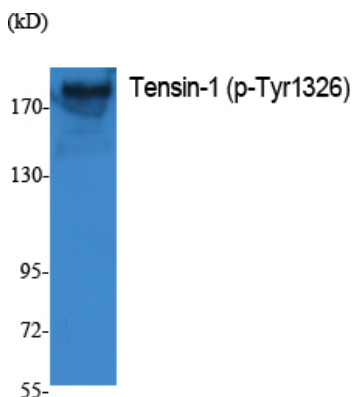
画像データ



テンシン 1 (リン酸化 Tyr1326) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



リン酸化スレンシン-1 (Phospho-Tyr1326) 抗体を用いた A10 細胞溶解物のウエスタンブロット分析。



ホスホテンシン-1 (Y1326) ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。

